

平成 30 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	浜田市木田暮らしの学校	
指定管理者	名称	木田地区振興協議会
	代表者	会長 今田 泰
	住所	浜田市旭町木田 488 番地
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認は、事業報告書の確認、指定管理者へのヒアリングにより行いました。</p> <p>その後、事業計画書に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等について現地調査等により別途モニタリングチェックシートを用いて確認した上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」等を記入しました。</p>	
担当部署 (問合せ先)	部署名	旭支所 産業建設課 産業振興係
	電話番号	0855-45-1437
	E-mail	a-sangyou@city.hamada.lg.jp

■ モニタリングの総合コメント

本施設は、歴史的価値の高い木造施設を都市農村交流拠点施設として活用し、地域の活性化が図られることを目的に整備された施設です。

平成 28 年度から指定管理者制度を導入し、木田地区振興協議会を指名により指定管理者に指定し、管理運営を行っています。

関係法令、協定書等の規定に基づき適正に管理運営されています。季節に応じた体験イベントの開催、田植えや収穫も楽しめるもちつき体験やカフェの運営など、積極的に自主事業を展開し、施設の利用促進に努めています。

施設の管理については、日常的な点検や清掃に加え、地元自治会や高齢者団体等の協力を得て、周辺の草刈、施設内の清掃が行われています。

施設利用については、美術展や和太鼓の公演など、新たな利用もありましたが、年間を通じての利用は伸び悩んでいます。

しかしながら、毎月役員会や全体会を開き、課題解決に向けて取り組まれており、総合的に判断し「概ね適切」であったと評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

「木田暮らしの学校」の名称は、地域の伝統文化や技術、風習など「木田の暮らし」そのものを継承する場としての意味合いを持っており、その目的の達成のためには多くの木田地区の住民の協力が必要不可欠といえます。しかしながら、現在は限られた構成員で取り組まれており、そのことが活動の大きな負担にも繋がっています。受け皿となる地域住民が減少傾向にある中で活動を維持していくためには、一人一人の負担を減らしながら持続可能な活動を検討する必要があると考えます。

また、校舎を使いながら保存していくという観点から、日常的な地元住民の利用を増やす取り組みの検討も課題といえます。地元住民が利用したくなるような情報発信や交流機会の創出も必要と考えます。

■個別評価

I 基本的な考え方	
① 目的、公平性、効果等への所見	<p>現指定管理者である木田地区振興協議会は、木田地区における都市農村共生・対流による地域活性化を図ることを目的として設立されており、木田地区自治会、木田小学校後利用検討委員会、旭温泉ふるさと伝授道場、旭温泉旅館組合などの地元委員に加え、旭支所防災自治課及び産業建設課も会員として構成されています。</p> <p>当施設の地域との結びつきについて精通しており、効率的に管理運営されています。</p>
II 業務内容	
① 事業への具体的取り組み方について	<p>ひなまつりや雑巾がけタイムトライアルの開催、田植えから始めるもちつき体験など地域資源を活かした事業が年間を通じて開催されており、事業を通じて地域住民と地域外の方との交流が良好に行われています。</p> <p>リピーターも多く、地元の恒例行事として定着しつつあります。</p>
② 施設の運営体制や組織について	<p>協議会内に3部会（楽しむ部会・儲ける部会・守り伝える部会）を設置し、それぞれの目的達成のために計画を立て、実施については協議会全体で取り組むことで効率的に運営されていると考えます。</p>
③ 適切な事務や経理について	<p>施設の利用に関する事務については、条例や仕様書等に沿って適正に処理されています。</p> <p>経理事務については、担当者により適正に処理され、会計報告されています。</p>
④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について	<p>危機管理マニュアルが整備されており、施設・設備の保守点検も適正に実施されています。</p> <p>また、個人情報の管理についても適正に管理し、構成員に対しての指導も行われていると認められます。</p>
⑤ その他業務内容について	<p>特になし。</p>

※「施設概要及び実績報告書」は別紙のとおり

〔別紙〕

施設概要及び実績報告書

1 施設概要

施設名	浜田市木田暮らしの学校	
所在地	浜田市旭町木田 485 番地	
開設年月	平成 28 年 4 月	
設置条例	浜田市木田暮らしの学校条例	
設置目的	歴史的価値を有する木造施設を活用し、農業等の地域産業と連携した交流事業を行うことにより、地域コミュニティの発展を図り、もって地域の活性化に資する。	
施設の概要	敷地面積	7,741.00 m ²
	延床面積	1,692.00 m ²
	施設内容	体育館 校舎 運動場
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域産業と連携した交流事業 ・ 地域の文化品等の展示 ・ 地域食材等を活用した飲食の提供 ・ 交流、研修等を行うための施設の提供 ・ その他暮らしの学校の設置の目的を達成するために必要な事業

2 運営実績

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
開館日数	359 日	359 日	359 日
開館時間	8 : 30 ~ 22 : 00	8 : 30 ~ 22 : 00	8 : 30 ~ 22 : 00

3 利用実績

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
利用件数	11 件	20 件	21 件
延べ利用者数	392 人	500 人	318 人
利用料金収入	148,750 円	60,000 円	71,800 円

4 収支実績

(単位：円)

収入

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
前期繰越金	0	315,729	315,729
利用料金収入	148,750	60,000	71,800
指定管理料	950,000	950,000	950,000
カフェ売上	137,990	100,000	64,800
体験交流参加料	112,200	100,000	70,400
イベント売上	115,100	100,000	27,500
もち米販売売上	66,000	50,000	49,530
備品貸し出し	0	1,000	1,500
その他補助金	173,329	0	54,726
その他収入	38,216	271	240,585
収入計 (A)	1,741,585	1,677,000	1,846,570

支出

項目	H29 実績	H30 計画	H30 実績
人件費 (日当)	0	100,000	63,059
消耗品費	23,438	100,000	17,388
燃料費	17,951	15,000	0
印刷製本費	8,426	10,000	0
光熱費	598,989	600,000	583,859
修繕料	78,646	100,000	0
通信運搬費	125,987	50,000	43,700
委託料	64,800	65,000	64,800
CATV 受信料	0	70,000	69,984
上下水道料	46,367	70,000	62,437
備品購入費	21,831	100,000	303,254
イベント・カフェ運営費	386,536	300,000	97,729
雑費	52,885	97,000	67,896
支出計 (B)	1,425,856	1,677,000	1,374,106

収支差引 (A-B)	315,729	0	472,464
-------------------	----------------	----------	----------------